

# 南房総市スポーツのまちづくりに係る スポーツ合宿誘致の実績

## 南房総市スポーツ合宿誘致活動について

### 1 事業の概要と実績の推移

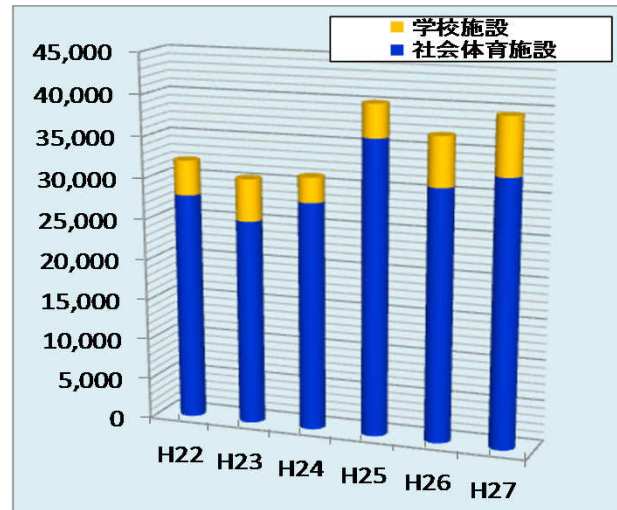
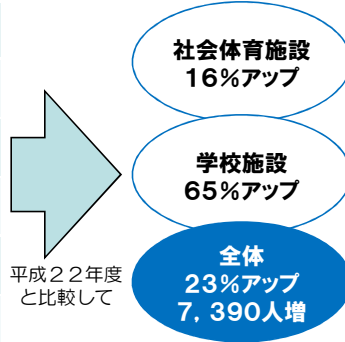
南房総市では、スポーツを通じて市民の健康づくりや地域コミュニティの醸成を図るとともに、スポーツ合宿・大会等の誘致により宿泊産業の活性化を実現するため、スポーツによる交流人口の拡大に向けた取り組みを行っている。その結果、市内の社会体育・学校施設のスポーツ合宿実績は、東日本大震災前の平成22年に比べ、7,390人（23%アップ）増加した。今後も2020東京オリンピック・パラリンピックをはじめ、市民がスポーツに触れる機会の提供やスポーツ交流を通じた新たな宿泊需要を掘り起こし、地域のスポーツ振興を加速させたい。

#### (1) 南房総市内スポーツ施設の利用実績

年度	社会体育施設 利用者総数	学校施設 利用者総数	スポーツ合宿・ 大会等 利用人数	合宿人数	宿泊を伴う 大会人数	備考
H22	207,551人	69,829人	51,692人	32,041人	19,651人	
H23	199,826人	97,617人	52,821人	30,290人	22,531人	※東日本大震災の影響を考慮し、H23.5月～H24.3月まで市内宿泊者の使用料は100%減免措置
H24	222,398人	133,898人	52,083人	30,994人	21,089人	※市内宿泊施設に1泊以上宿泊した場合の使用料を市内者料金扱い(5割減免)とする減免措置
H25	200,450人	109,254人	66,623人	40,015人	26,608人	※平成24年度と同様の措置とする。
H26	197,163人	86,015人	60,576人	36,743人	23,833人	※平成24年度と同様の措置とする。 ※予約システムの導入により集計方法を変更
H27	196,942人	90,632人	54,801人	39,431人	15,370人	※平成24年度と同様の措置とする。

#### 社会体育・学校施設の年度別スポーツ合宿等の利用人数の推移

	社会体育施設	学校施設	合計	(単位:人)
H22	27,830	4,211	32,041	
H23	25,167	5,123	30,290	
H24	27,953	3,041	30,994	
H25	36,009	4,006	40,015	
H26	30,769	5,974	36,743	
H27	32,453	6,978	39,431	



#### ▼富山ふれあいスポーツセンター



3,448人  
24%  
アップ

#### ▼富山平群体育館



1,126人  
119%  
アップ

#### ▼丸山体育館



2,343人  
227%  
アップ

#### ◆丸山体育館の合宿利用2,300人増！大規模改修により合宿誘致を後押し

丸山体育館は平成27年度に大規模改修を実施し、床の全面改修工事や照明のLED化により、施設の機能強化を図った。その結果、合宿利用者からの満足度も高まり、合宿を伴う利用人数の増加につながっている。

#### ◆学校開放の拡大により合宿利用65%アップ

学校施設の開放を進めた結果、東日本大震災前の平成22年度に比べ、合宿利用は65%の増加となった。主な施設は、富浦小学校体育館、富山小学校体育館及び嶺南中学校和田校舎体育館（旧和田中学校）がそれぞれ1,000人程度的大幅増となった。

#### ▼富山小学校体育館



966人  
74%  
アップ

2 スポーツ合宿・大会の誘致について

市民とともに持続可能な運営体制を構築しながら、年間を通じて様々な種目の大会を行い、子どもたちの技術力の向上や交流を通じた人間形成、宿泊産業の活性化などを図るため、新たな大会誘致や交流試合の機会を増やしている。

▼新潟医療福祉大学の硬式野球部合宿  
(千倉総合運動公園)



H26年～  
開催

寒さの厳しい冬の新潟では練習環境が整わないことから、春夏8度の甲子園出場を果たした新潟明訓高校を率いた佐藤和也氏が監督を務める新潟医療福祉大学硬式野球部の合宿を誘致。延べ宿泊数は600人泊を超える。

▼全日本ライフセービング選手権大会  
(岩井海岸)



H24年～  
開催

遠浅の海と地元の受け入れ態勢が認められ、全国の小学生から高校生の日本一を決めるライフセービング大会を春と夏に開催。1回の大会で200～400人泊の宿泊需要を生むなど宿泊施設の恩恵も大きい。

▼南房総バスケットボールキャンプ  
(富山ふれあいスポーツセンター ほか)



H24年～  
拡充

以前から地元民主体で開催していた高校生のバスケットボール大会に平成24年から市教育委員会が全面協力し、参加チームが一気に拡大。4泊5日の期間中に参加チーム数は40チーム、延べ2,500人泊を超えるキャンプに成長した。地元中学生との交流試合を組むなどスポーツ振興への貢献度も高い。

▼全日本グランドチャンピオンゲームズ2013  
(南千倉海岸)



H25年  
開催

日本サーフィン連盟主催のアマチュア日本一を決めるサーフィン大会を開催。世界大会の出場に向け、全日本代表選手選考会を兼ねるなど、ハイレベルな戦いが繰り広げられ、200人の選手が日本一を争った。

▼南房総夕空絶景マラソン大会  
(岩井海岸)



H26年～  
開催

岩井海岸の有効活用と新たな宿泊需要を創出することを目的に、午後にスタートとするマラソン大会を開催。

▼BOSOグランプリin南房総  
(富浦地区の広域農道)



H25年  
開催

継続的な自転車合宿誘致の足掛かりを目指し、ゆめ半島千葉国体で自転車ロードレースを実施したノウハウを生かし、民間企業とタイアップした自転車レースを実施。225人が特別コースを疾走。

▼南房総ロードレース千倉  
(千倉・白浜地区)



市主催大会

潮風薫る海岸線コースを走るロードレース大会。毎年3,500人を超えるランナーが訪れる。マラソンブームの追い風に乗り、定員を超える申し込み多数。

▼関東地区ミニバスケットボール南房総市  
TOMIURAさざ波大会 (富浦体育館 ほか)



市主催大会

関東地区の各都県予選を勝ち抜いた男女36チームが集い、関東ナンバーワンを目指すミニバス大会。期間中は、約2,000人泊が岩井・富浦地区の民宿へ宿泊するなど、経済効果も大きい。

▼小野派一刀流流祖忠明旗争奪関東小学生剣道大会  
(富浦体育館)



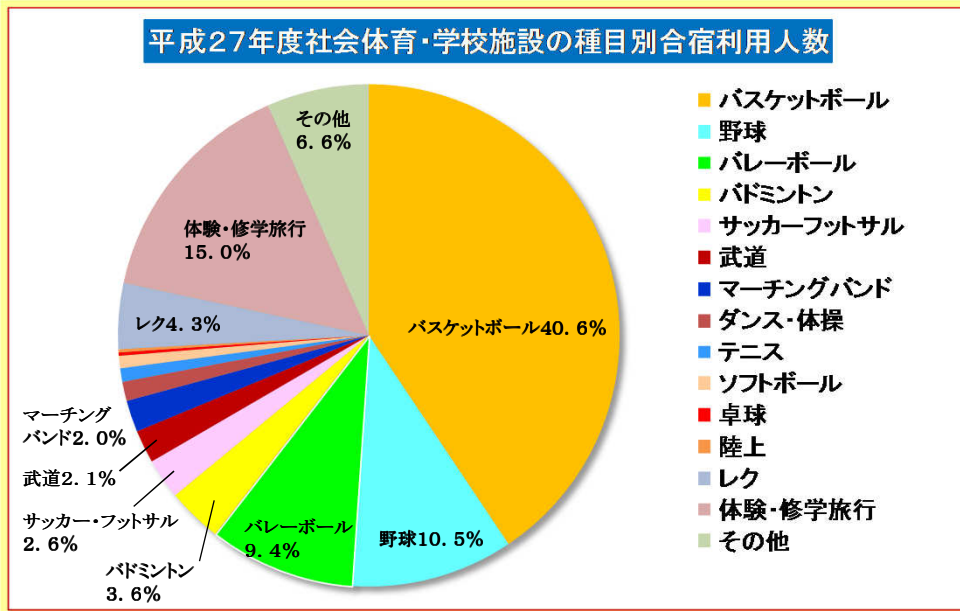
市主催大会

関東地区を対象に毎年110チームを超える参加チームが剣士を交える小学生の剣道大会。

3 スポーツ合宿の種目別利用人数について

平成27年度社会体育・学校施設のスポーツ合宿利用者の種目別人数は、次のとおりである。体育館数が多いため、屋内競技の利用が多くなっているが、今後のスポーツ合宿誘致の参考にしたいと考えている。

■社会体育・学校施設利用の月別スポーツ合宿・大会利用人数



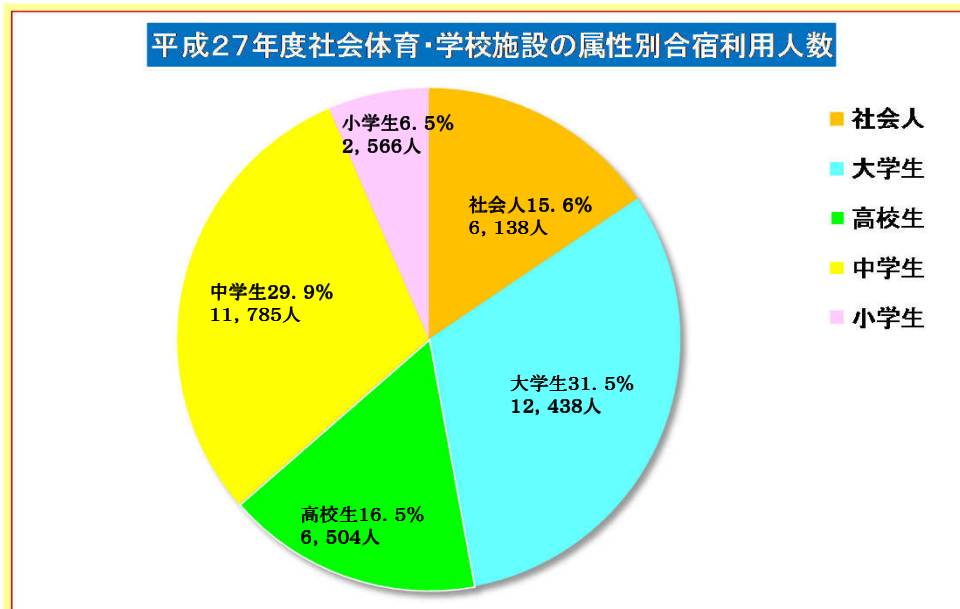
▼平成27年度 社会体育・学校施設

種目別合宿利用人数の内訳 (単位:人)

種目	合宿人数	割合
バスケットボール	15,966	40.6%
野球	4,179	10.5%
バレーボール	3,705	9.4%
バドミントン	1,396	3.6%
サッカー・フットサル	1,029	2.6%
武道(剣道・空手・柔道・弓道)	839	2.1%
マーチングバンド	803	2.0%
ダンス・体操・踊り	489	1.2%
テニス	341	0.9%
ソフトボール	313	0.8%
卓球	87	0.2%
陸上	80	0.2%
レク	1,671	4.3%
体験・修学旅行	5,934	15.0%
その他	2,599	6.6%

4 スポーツ合宿の属性別利用人数について

スポーツ合宿利用のうち、大学生の割合が31%と最も高く、次いで中学生の29%となっている。大学生の施設別利用人数は、富山ふれあいスポーツセンター5,320人、千倉総合運動公園野球場1,060人などとなっている。



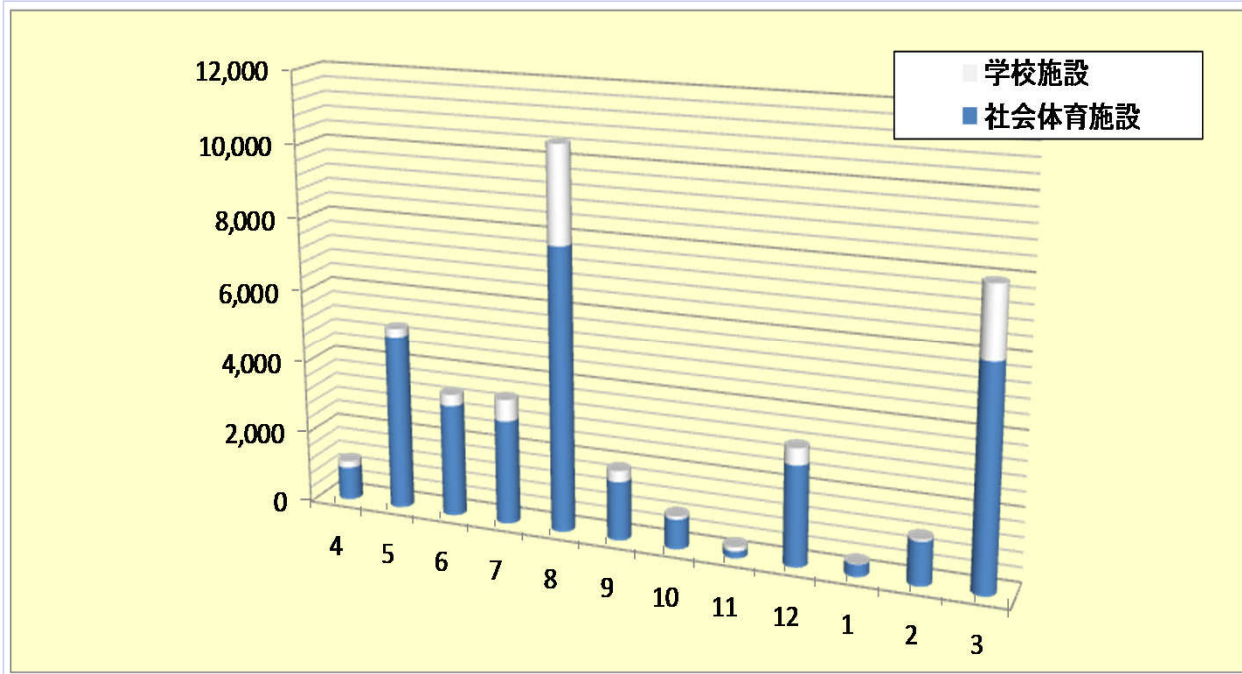
▼平成27年度 社会体育・学校施設

属性別合宿利用人数の内訳 (単位:人)

種目	合宿人数	割合
社会人	6,138	15.6%
大学生	12,438	31.5%
高校生	6,504	16.5%
中学生	11,785	29.9%
小学生	2,566	6.5%

5 スポーツ合宿の月別利用人数について

平成27年度社会体育・学校施設のスポーツ合宿利用者の月別人数は、次のとおりである。学生の長期休暇となる8月と3月の利用が多く、この時期は予約が殺到し、これ以上利用人数を増やすことが難しい状況である。限られた施設で多くの合宿利用を呼び込むため、交流試合の企画を増やして利用実績を伸ばすほか、ほかの時期の稼働率アップを図るため、営業活動や情報発信強化に努めている。



▼平成27年度 社会体育・学校施設種目別合宿利用人数の内訳 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
社会体育施設	919	4,859	3,099	2,873	7,812	1,619	818	186	2,736	332	1,190	6,010	32,453
学校施設	184	234	319	598	2,665	306	88	120	456	15	56	1,937	6,978